

最も生産量の多い香酸柑橘！「^{こうさんかんきつ}柚^{ゆず}」



1. 果実の出荷時期と利用方法

出荷時期	10月下旬から12月中旬まで ※果皮が黄色になる前の柚は青柚と呼ばれ、全出荷量に対する割合はごくわずかですが10月中旬以前に出荷されます。
利用方法	熟した状態でも酸味が非常に強く、果汁は調味料や飲料などの原料に、果皮は料理の薬味に、それぞれ利用されます。また、冬至の日には、柚湯としてお風呂に浮かべて利用されることもあります。
備考	愛媛県は、高知県、徳島県に次ぐ「柚」の産地です（平成20年産）。また、徳島県で生産が盛んな「スダチ」、大分県で生産が盛んな「カボス」は、いずれも「柚」の近縁品種といわれています。

2. 来歴

中国の揚子江上流地域の原産といわれ、日本には唐の時代（7世紀）に朝鮮半島を經由して渡来したと考えられています。奈良時代（8世紀）には、薬用や食酢としての利用を目的に栽培されていたことが記録に残っています。

※父母世代不明のため、3世代系譜図は省略